

# 大銀杏

おいちょう

令和2年10月13日  
秋 御会式号 第7号  
発行：日蓮宗圓藏寺

〒330-0054  
さいたま市浦和区東岸町1-29  
電話 048-882-2835  
FAX 048-883-9848  
ホームページ  
浦和 円藏寺 検索

## 日蓮大聖人のお言葉

たとい敵人等悪口を吐くと

いえども、各々当身の事、

一二度までは聞かざるがごとく

すべし。三度に及ぶの時、顔貌を

変ぜず麗言を出さず、冥語をも

つて申すべし。

### 門注得意鈔

日蓮大聖人のお言葉に触れ、日々の生活の指針を求めたいと思います。  
このお言葉は、文永6年(1269年)、大聖人48歳の時、門柱所に  
召喚され法門上の取り調べをうける富木常忍達に、その心得を記した  
お手紙の一説です。

「やられたらやり返す。倍返しだ！」  
ドラマ『半沢直樹』が終わってしまいい曜日の楽しみがなくな  
ってしまいました。

ところで、私たちの日常においても職場、ご近所、また家族  
であつてもついついイラツとする事はあるでしょう。そのよう  
な時に、「よし、半沢直樹のようにやられたら何倍にもして返  
してやる」というのも一つの考え方もありません。しかし、  
何でもかんでもお返しをすれば良いというものではもちろんござい  
ません。ドラマであれば、半沢直樹はバンカー(銀行員)として、さ  
らに言えば、人としての確固たる「正義」に反したものに對して倍返  
しをしている事を見落としてはいけません。例えば、遅刻をして怒ら  
れた。それに対して腹を立てて何か仕返しをしようなんて事はとても  
「正義」とは言えません。

では、私たちの「正義」とは何かを信仰的に考えてみますと、一つ  
に「お釈迦様が喜びになる事か」と言えると思います。会社員であ  
れば「顧客が喜んで下さる事か」という基準に言い換える事もでき  
るかもしれません。その時は、堂々と断固たる決意を持って立ち向かう  
必要もあるでしょう。しかし、そのまま怒りに任せて対応すると、ス  
ムーズにいく案件であつてもこじれてしまう場合もよくある事です。  
日蓮大聖人も正しい信仰を勧める為に真っ直ぐに立ち向かった方  
です。しかし、誰でも彼でも敵とみなして押し付けていったわけでは  
ございません。大聖人は、「たとえ相手が悪口を吐いても、一、二度  
までは聞かぬふりをしなさい。もし三度目にも及ぶのであれば、顔色  
を変えて語気を荒くするのではなく、丁寧な言葉を持って穏やかに応  
対しなさい」とご教示なさっております。

もし、自身の「正義」が仮に正しい事だとしても、その対応一つで  
望まぬ結果を生んでしまいます。まずは、自身の「正義」が本当の正  
義なのかを精査する事。そして、正しい事であつても闇雲に立ち向か  
うのではなく、丁寧な言葉、穏やかな心で対応する事で自身も相手も  
理想の境地へと辿り着くはずです。共に精進致しましょう。(良海)

## 六老僧と門流の始まり

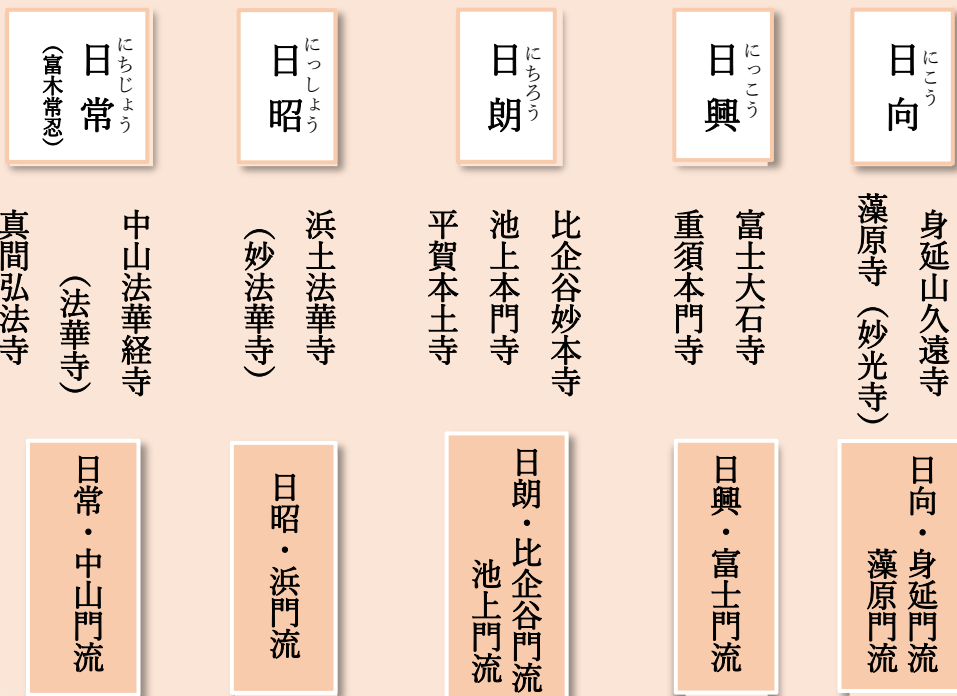
大聖人は、お亡くなりになる5日前に6人のお弟子（日昭・日朗・日興・日向・日頂・日持）を「本弟子」と定め、心一つにお題目を伝えていくように遺言なさいました。この6人を「六老僧」と言います。

また、遺言通りに大聖人の御遺骨は身延に納められ、六老僧はそれぞれの地で布教を続けながら1ヶ月交替で身延の大聖人の墓所をお守り（輪番守塔）していきました。しかし、各地で布教を続ける中で、その地を離れて身延へと行く事は容易なことではなく、次第に身延近郊の甲斐・駿河を地盤とする日興が身延に常住する事となりました。

ところが、日興は身延の開山に貢献してくれた檀越の波木井実長と信仰上の考え方の違いから対立し、日興は身延を下り、富士門流を興します。その後、身延は日向が運営・教化にあたる事となりました。これをきっかけに、徐々に教団の結束は破れ、自らの正当性を主張しながら発展し、様々な門流が生まれていくのです。

六老僧以外にも、大聖人の有力な檀越であった富木常忍が出家をし、日常と名乗り門流を形成していきます。大きく5つの門流が出来、さらにそこから多くの門流が誕生し、抗争と発展を続けていく事となりました。

### 初期門流図



令和3年2月16日、日蓮大聖人御降誕800年の節目を迎えます。報恩感謝シリーズ2回目には、大聖人ご入滅後の教団についてご紹介。現代に繋がる門流の始まりと大聖人の念願であった京都での布教についてお伝えしていきます。

# 日蓮大聖人の後継者

日蓮大聖人御降誕800年報恩感謝シリーズ2 (全3回)



## 日像～帝都弘通の遺命～

日蓮大聖人ご入滅時の教団は、弟子信徒を合わせても数百人程度と言われていています。鎌倉を中心に布教された大聖人、さらに各門流の活動も東日本が中心でした。そこで、全国へとお題目を弘めるためにも政治・文化の中心である京都への布教は大聖人の念願でもありました。

それを託されたのが、日朗門流の筆頭、大聖人ご入滅時は少年僧であった経一丸、のちの日像です。25歳になった日像は鎌倉由比ヶ浜で100日間の荒行を行って成就を祈願しました。



そして、小湊・佐渡・身延と巡拝し、2年がかりで入洛した日像の京都での布教活動が始まりました。商工人を中心に次々と信徒を加え、「京の町は法華題目の巷」と呼ばれるほどに教線を拡大していきました。

ところが、信徒の増加に伴い、延暦寺をはじめとする他宗からの圧力も強くなり、度重なる弾圧を受けてしまいます。三度にわたり京都を追放されますが、困難を乗り越え、ようやく京都での布教が認められ、1321年に妙顕寺を創建致します。そして、1334年には鎌倉幕府を倒して「建武の新政」を果たした後醍醐天皇の勅願寺となったのです。日像が入洛して40年、ついに日蓮教団は天下公認の宗派となったのです。

# 奉納感謝

ご奉納感謝いたします。  
大切に使用させていただきます。

【マスク・除菌シート・フェイスシールド等】

田邊聖子 様

【掃除機2台・掃除道具一式】

赤坂 翠 様

【お茶 沢山】

立川談慶 様

【掃除道具(軍手・雑巾等)】

亮 想 様

【手作りマスク】

小林えく子様

【仏画(普賢菩薩像・観世音菩薩像)】

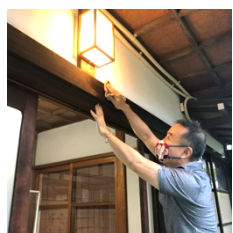
小倉利夫 様

当山筆頭総代

## 寺子屋新企画

### 掃除の日くしゅりはんどくに学ぶく

月に一度の掃除の日です。掃除は自身  
の心も磨く立派な仏道修行。お礼は何も出来  
ませんが、仏様からの御加護が必ずござい  
ます。初回は13名ものご参加でした。  
ご協力有難うございます。月一回開催。



談慶師匠も駆けつけてくれました！

## 神田紅佳「開運講談会」

講談師・神田紅佳様とご縁をいただき、  
定例開催致します。開運シリーズとして、  
講談の前には御祈祷もがございます。

第一回 11月7日(土) 13時

・布施(参加費) 二千元 ・予約不要



## 行事報告 & 本のご紹介



### 大法要(盂蘭盆施餓鬼会・秋季彼岸会)

盂蘭盆施餓鬼会(8/23)は、総代・世話人・新盆  
のご家族のみ。秋季彼岸会(9/22)は、総代・世話  
人のみにそれぞれ参拝人数を制限させていただ  
き法要を営みました。一般の檀家様においては、  
法要後、午後からご参拝賜り、本堂にてお焼香い  
ただきました。

特に盂蘭盆施餓鬼会においては、僧侶・参拝者  
全員が一方方向を向き、フェイスシールド着用・ソ  
ーシャルディスタンス確保の上でお勤めしまし  
た。皆様のご協力に感謝申し上げます。



### 第20回立川談慶「開運落語会」(8/4)

特別ゲスト:立川談笑 師匠

立川談慶師匠・ご参加の皆様と作り上げて  
きた「開運落語会」が20回目の節目を迎え、  
特別ゲストに立川談笑師匠をお招きして開催  
いたしました。コロナ禍のため、人数制限の中  
での開催でしたが、堂内に笑いが満ちた特別  
な時間となりました。これからも益々賑やかに  
開催してまいります。



○総代様より御奉納い  
ただきました仏画もお  
披露目されました。  
○お焼香は一方通行で  
密にならないように！



## 読書の秋におすすめ 立川談慶師匠 人気著作のご紹介



『教養としての落語』(サンマーク出版)  
オリエンタルラジオ中田淳彦さんも  
YouTube 大学で大絶賛の話題の本です。  
落語に対する理解はもちろん、日常に活かせる  
内容が盛り沢山でお勧めです。



『花は咲けども心せども  
～人情七転び八起き～』  
(PHP 11月増刊号・連載小説)  
初回からウルツとなりながら読んでいました。  
続きが今から待ち遠しい人情物語です。

# 【組立式高座一式】完成致しました！

昨年より円蔵寺とご縁のある方々にご寄付をお願いしておりました「組立式高座」がこの度、無事に完成いたしました。この高座は、開運落語会はもちろん、今年より開催している法話会で活躍していきます。また、「落語にも高座説教にも使える」「組立式」「限られた貴重な浄財」そのような注文の多い条件にも関わらず、三友工務店様、並びにご縁のある職人の皆様が熟練の技で見事に応えてくださいました。感謝申し上げます。今後、より良いお説教、落語会を開催していく事で皆様のご恩に報いていきたいと強く感じております。

御奉納下さいました皆様、職人の皆様、心より感謝申し上げます。当山の宝として、今後も長く大切に使用させていただきます。

※日蓮大聖人御降誕800年の記念事業の一つし、後世に残していきたいと思えます。

## 【寄付者御芳名一覽】（敬称略）

- 《三万五千元》赤坂 翠
- 《一万元》齊藤光法
- 《五千元》荒井登喜夫 小山脩 高津奈津子 本多敦美
- 《三千元》尾花伸 高津奈津子 水川憲司
- 《二千元》石浜悦子 岡田勉・洋子 太田量一 小野利恵子 山口耕司
- 《千円》安中ひろみ 北川浩 柴田永二 柴田理絵 嶋田美由利 田井秀子
- 竹田明美 田中祐子 田邊聖子 且八重子 樋口嬉子 久山俊子
- 福島秀明 堀交子 松本寛美 村上信子

## 《製作》三友工務店様 職人の皆様



組立式の為、簡単に移動・設営が可能。落語の時は上部が平らに変形！



職人の皆様！有難うございます！



毎月開催の「法話会」では、副住職が修行中の「高座説教」が行われます。大聖人の御一代記を講談や落語のように語る「繰り弁」があるのも特徴の一つです。ご参加お待ちしております。

# 暦

檀信徒問わずどなたでもご参加いただけます。



## 十月（神無月）

- 8日（木）お経の会（午前10時）
- 11日（日）掃除の日（午後1時）
- 13日（火）写経会（午前10時）
- 13日（火）開運落語会（午後6時）
- 16日（金）寺ヨガ（午前10時）
- 18日（日）法話会（午後1時）
- 30日（金）寺ヨガ（午前10時）

## 十一月（霜月）

- 1日（日）掃除の日（午後1時）
- 3日（火）当山御会式（別紙ご案内）
- 7日（土）開運講談会（午後1時）
- 9日（月）寺ヨガ（午前10時）
- 12日（木）お経の会（午前10時）
- 17日（火）写経会（午前10時）
- 24日（火）**オレンジカフェ**（午後2時）
- 29日（日）法話会（午後1時）
- 30日（月）寺ヨガ（午前10時）

●オレンジカフェは水曜日から火曜日に移動します。開始時間もしばらく午後2時から短縮となります。

また、浦和区からの指導により、引き続き**中止の可能性**もございます。事前にご確認ください。

●感染予防、また法務のため、急遽中止・延期等の可能性もございます。変更の際は、ホームページ・SNS・境内設置掲示板等にてご案内致します。ご了承ください。

●ご参加の前に、必ず検温をいただき、体調に不安がある場合はご参加をお控えください。